

令和7年度 海水浴場水質調査結果表

市町村名	海水浴場名	採水年月日	検査項目(水質)								判定	
			気温 °C	水温 °C	透明度 m	COD mg/l	ふん便性大腸菌群数 個/100ml	油膜	腸管出血性大腸菌 O157	pH		
舞鶴市 (4)	ノハラ野原	令和7年5月22日	16.7	19.6	1以上	1.7	2	なし	不検出	8.2	水質A	
	リュウグウハマ オバセク 竜宮浜(小橋区)	令和7年5月22日	17.3	19.4	1以上	1.7	<2	なし	不検出	8.2	水質AA	
	リュウグウハマ ミハマク 竜宮浜(三浜区)	令和7年5月22日	18.6	19.5	1以上	1.4	60	なし	不検出	8.2	水質A	
	カンザキ神崎	令和7年5月22日	19.3	19.5	1以上	1.8	<2	なし	不検出	8.2	水質AA	
宮津市 (3)	タシゴ ユラ 丹後由良	令和7年5月22日・6月10日	20.3	20.0	1以上	1.1	4	なし	不検出	8.2	水質A	
	アマノハンダテ 天橋立	令和7年5月22日	20.7	18.9	1以上	1.3	<2	なし	不検出	8.2	水質AA	
	アマノハンダテフチウ 天橋立府中	令和7年5月22日	20.0	19.0	1以上	1.5	13	なし	不検出	8.2	水質A	
伊根町 (2)	トマリ泊	令和7年5月23日	18.3	14.0	1以上	1.5	<2	なし	不検出	8.2	水質AA	
	ホンジョウハマ 本庄浜	令和7年5月23日	18.5	14.3	1以上	1.2	2	なし	不検出	8.2	水質A	
京丹後市	(丹後町) (6)	ナカハマ中浜	令和7年5月23日	18.5	13.8	1以上	1.7	8	なし	不検出	8.2	水質A
		キュウソ久僧	令和7年5月23日	18.3	14.1	1以上	1.2	45	なし	不検出	8.2	水質A
		タカシマ高嶋	令和7年5月23日	18.3	14.2	1以上	1.5	<2	なし	不検出	8.2	水質AA
		タカノ竹野	令和7年5月22日	18.4	18.5	1以上	0.9	<2	なし	不検出	8.2	水質AA
		タテイワ ノチガハマ 立岩・後ヶ浜	令和7年5月22日	18.3	18.3	1以上	0.7	2	なし	不検出	8.2	水質A
		スナガタ砂方	令和7年5月22日・6月10日	17.5	19.0	1以上	1.4	17	なし	不検出	8.2	水質A
	(網野町) (5)	コトビキハマアソビ 琴引浜遊	令和7年5月22日	17.5	19.0	1以上	1.2	2	なし	不検出	8.2	水質A
		コトビキハマカケツ 琴引浜掛津	令和7年5月22日	17.3	18.8	1以上	1.2	3	なし	不検出	8.2	水質A
		コハマ小浜	令和7年5月23日	18.0	19.7	1以上	1.7	<2	なし	不検出	8.2	水質AA
		ハツチヨウハマアサモガワ 八丁浜(浅茂川)	令和7年5月23日	18.9	19.0	1以上	1.6	<2	なし	不検出	8.2	水質AA
		ハマツメユビ ガウラ 浜詰夕日ヶ浦	令和7年5月23日	18.2	19.1	1以上	1.7	<2	なし	不検出	8.4	水質AA
	(久美浜町) (3)	ハコイシハマ 箱石浜	令和7年5月23日	17.7	20.0	1以上	1.6	<2	なし	不検出	8.4	水質AA
ショウテンキョウカズラノハマ 小天橋・葛野浜		令和7年5月23日	19.5	20.0	1以上	0.9	<2	なし	不検出	8.2	水質AA	
カマイハマ 蒲井浜		令和7年5月23日	18.3	19.1	1以上	1.6	3	なし	不検出	8.2	水質A	

※ 一部海水浴場について、気象条件等の影響のため再採水を行っています。

水質調査判定基準の概要

項目	判定基準					検査項目の説明
	適		可		不適	
	水質AA	水質A	水質B	水質C		
透明度	全透 (水深1m以上)	全透 (水深1m以上)	水深1m未満 ~50cm以上	水深1m未満 ~50cm以上	50cm未満	透明度とは、直径30cmの白色円板(透明度板)を静かに水中に沈めて、見えなくなる深さと、次にこれをゆっくり引き上げていって、見え始めた深さとを反復して、確かめて平均し、メートルで表したものである。 全透とは、海水中において、1mの距離にあるものが識別できる程度に海水が澄んでいることを示している。
COD (化学的酸素 要求量)	2mg/L以下	2mg/L以下	5mg/L以下	8mg/L以下	8mg/L超	水中の有機物質等が、過マンガン酸カリウム等の酸化剤で、酸化されるときに消費される酸素量のことで、mg/Lで表したものである。 この数値が大きいくほど、海水の有機汚濁が進んでいることを示している。
ふん便性 大腸菌群数	※不検出 (検出下限: 2個/100ml)	100個/100ml以下	400個/100ml以下	1,000個/100ml以下	1,000個/100ml を超えるもの	大腸菌群には、自然界の土壌や水などにもともと分布している「非ふん便性大腸菌群」と、人や動物の体内に繁殖し、ふん便とともに体外に排泄される「ふん便性大腸菌群」の両方が含まれている。 ふん便性大腸菌群は、ふん便汚染の指標となるもので、これにより海水が汚染を受けているか否かを判定する。
油膜	認められない	認められない	常時は認められない	常時は認められない	常時認められる	

※「不検出」とは、平均値が検出下限未満のことをいう。

(参考項目)

腸管出血性 大腸菌 O157	不検出	検出	ふん便由来の汚染を確認するため平成8年度から調査している。
pH	5.8以上 8.6以下	左記範囲外	基準値の範囲内であれば、水が中性又は中性に近い状態にあるといえる。